

特集3 — 知財・無形資産ガバナンスに対する取り組み —

知的資産を経営資源として活用し、成長する企業へ

ミッション

ロジスティードグループの知的資本を可視化し、ビジネスモデルの立案、営業戦略につなげ、コラボレーション、イノベーションを促進する

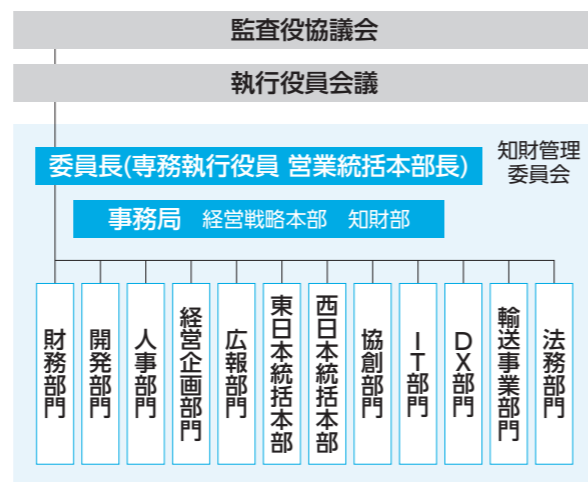
新ブランドのもと、持続的な企業成長に挑む



2018年からビジネスコンセプトとして使用してきた「LOGISTEED」には、ロジスティクスを超えてビジネスを新たな領域へ向かう意思を含んでいます。2023年4月の商号変更に伴い、当社グループは、海外現地法人を含めLOGISTEEDブランドに切り替わりました。「ロジスティード」「LOGISTEED」「羅集帯」およびスライプマークの保護を図り、当社グループの持続的成長のため、ブランド価値向上に資する取り組みを促進していきます。

知的財産マネジメント体制

ロジスティードグループは、知的財産が重要な経営資源であるとの考えのもと、知財戦略・管理の意思決定機関として知財管理委員会を設置し、グループ内の知的財産・無形資産に関し横断的に統括・管理しています。また、新たなサービスソリューションやビジネスモデルに対して特許等の産業財産権の獲得による保護を標準的にしているほか、物流の過程で取得したデータや現場に蓄積されたノウハウに対しては、その活用を含めた保護と高付加価値化を検討し、ゲームチェンジへつなげる戦略を推進しています。さらに、第三者の知的財産に対しては、法令や契約に従った適切な取り扱いおよび保護を基本とし、常に誠実、公正に行動するよう努めています。



「知」を可視化し、次の戦略を探求する知財マネジメント

ロジスティードグループの「知」の源泉は、ロジスティクスの現場を支える「人材」にほかなりません。DXの推進と現場を起点/基点とした改善活動から創出されるノウハウや発明といった知財を発掘し、ビジネスモデルの立案や営業戦略につなげるとともに、事業・経営戦略に対する知財の位置づけを明確にしたうえで、発明者自身が事業の成長を担う源泉であるとの認識をグループ全体で共有しながら、持続的成長を支える仕組みを構築しています。物流や輸送事業の過程で取得したデータ・情報はいわば社会活動を捉えた点であり、解析・分析することで次の社会活動の潮流を予測します。また、データは重要な知的資産であると考え、DXを推進し、リスク・コストを最小限にする施策をお客様に提案し、高度なスマートロジスティクスの実現に取り組んでいます。

一連の資本政策を経て非上場となりましたが、再上場を見据え、持続可能な価値創造プロセスの実装に向けて、知財・無形資産のマネジメント体制を維持しながらガバナンスを強化しています。



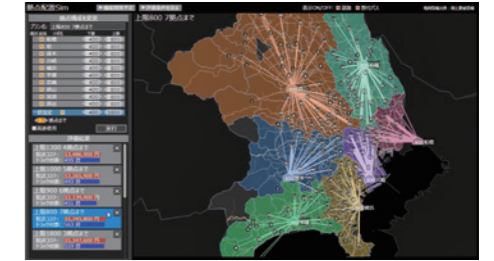
*IPランドスケープ:経営戦略または事業戦略の立案に際し、(1)経営・事業情報に知財情報を取り込んだ分析を実施し、(2)その結果、現状の俯瞰・将来展望等を経営者・事業責任者と共有すること。

取り組み事例① スマートロジスティクスのグローバル展開

スマートロジスティクスコンフィギュレータ (SLC)

調達・製造・配送・販売までの流れのシミュレーションを行い、倉庫配置案や倉庫設計値について膨大な組み合わせの中から、最適なプランを短期間で定量的に提案するツールです。日本はもちろん、インド、タイ、北米、欧州などでシミュレーション評価を実施し、物流拠点再編の検討などに活用しています。

当社は本技術に関し、日本、米国、中国、シンガポールにおいて特許を取得するなどスマートロジスティクス技術をIP (知的財産) で支え、急速な環境変化のもと、お客様のグローバル展開をサポートする取り組みを推進しています。



取り組み事例② SSCVの知財ミックス戦略



SSCV (Smart & Safety Connected Vehicle) は、テクノロジーとオープンな協創を通じて、輸送事業をアップデートするデジタルプラットフォームです。物流会社だからこそ提供できる現場発想のサービスで、さまざまな課題を解決し、輸送と社会をよりよい未来へつなぎます。SSCVは、Smart, Safety, Vehicleという3つのコンセプトのもと、各分野で特許出願を行い、イノベーション、コラボレーションを加速させながらサービス開発を進めてきました。各サービスに対してはコンセプトカラーを設定し、ロゴを作成することで一貫したブランド展開を図り、SSCVトータルでのブランドの価値向上をめざして事業展開を行っています。

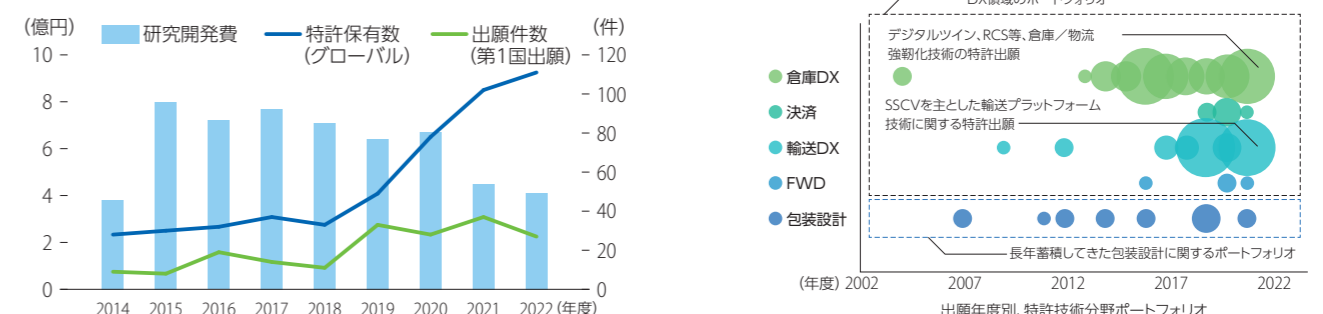
特許第7144602号 「法令準拠輸送計画作成システム、方法及びプログラム」
 物流業界の2024年問題に対応すべく、法令遵守を適えるドライバー労働管理システムです。個人のスキルに頼っていた配車計画を、労働時間を遵守しつつ自動で計画を作成します。

特許第6714036号 「管理支援システム」
 ドライバーのバイタル情報、車両の走行情報 (急ブレーキ、急発進など) をもとに疲労状態を解析し、インシデントが生じた際、管理者にドライブレコーダーの短時間動画を送信します。日本のほか、米国、中国で特許を取得しています。

特許第7189332号 「整備サポート拡張現実出力システム、コンピュータ、端末、整備サポート拡張現実出力方法及びプログラム」
 自動車整備者の不足という社会課題にフォーカスした特許です。タブレット端末等で自動車の整備箇所を映すと、整備項目、順序などをAR (拡張現実) で表示し、作業者をアシストしてくれるシステムです。

当社グループのめざす姿 ~LOGISTEED2030へ

中期経営計画のもと、事業強靱化につながる特許の出願、権利化を推進しています。倉庫事業では、作業進捗をシミュレーションし、リアルタイムにフィジカルな作業最適化を図るデジタルツイン技術など、スマートロジスティクスに関する特許を出願しています。輸送事業ではSSCV-Safetyの疲労解析技術のコアとなる特許をはじめ、サービス拡充に伴うビジネス関連特許のポートフォリオ強化を図っています。「LOGISTEED2030」に掲げる「グローバル3PLリーディングカンパニー」をめざし、特許のグローバル出願による知財保護強化はもちろんのこと、グループ全体における価値創造プロセスの実装を行っていきます。



スマートロジスティクスコンフィギュレータ、SSCV、SSCVロゴ、Smart & Safety Connected Vehicleはロジスティード(株)の登録商標です。